



『From7 第62回 歯科医師 歯科衛生士 歯科技工士 コーディネーターMeeting』

日時：平成27年1月7日(水) 19:15-21:00

場所：白鳥歯科インプラントセンター2F 研修室

演題

1. 【インプラント治療の偶発症～スクリューのゆるみについて～】

歯科医師 金子 亮 (白鳥歯科インプラントセンター)

『機能開始後のインプラント上部構造体において、発生頻度の高い偶発症として、スクリューのゆるみ、前装材料の破折などがあげられます。その中でスクリューのゆるみは、対応が容易なためにその重大性に気づきづらいですが、放置されることによって、インプラント体や上部構造体の不可逆的な損傷、インプラント周囲炎、骨結合の喪失などの大きな合併症へ発展することが懸念されます。今回は、実際の症例を通して「スクリューのゆるみ」の原因・対応について考えてみたいと思います。』

2. 【Nobel Procera ASC Abutment(Angulated Screw Channel)を使用した上部構造の考察】

歯科技工士 磯川 純 (白鳥歯科インプラントセンター)

『術前の診査診断で患者様の骨の状態やGBRの有無などを考慮し、最終上部構造を想定したインプラントの埋入ポジションが決定される。同時に上部構造の設計においてもスクリュー固定、セメント固定にするかが決められる。今回ノーベルバイオケアのASCアバットメントを使用することにより、セメント固定の計画ですすめていた症例の中切歯の切縁にかかっていたアクセスホールを舌側に移動することにより、スクリュー固定の上部構造に変更できた。実際に制作してみて使用するにあたり、ASCアバットメントの優位性や、注意しなくてはならない点などを報告する。』

3. 【審美領域のティッシュマネージメント】

歯科医師 白鳥 清人 (白鳥歯科インプラントセンター)

『情報社会の昨今、審美の回復、あるいは、更なる審美の獲得、ハリウッドスマイルが欲しいなどなど、審美的要求を主訴に来院する患者が多くなって来ている。今回は、上顎前歯部の審美治療について、軟組織のマネージメントについて症例を提示しながら考察してみたい。』